

町制施行60周年記念事業

平成28年1月 岬町子ども議会会議録

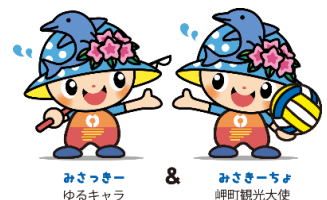


平成28年1月28日

岬町教育委員会

岬町議会事務局

岬町まちづくり戦略室



平成28年岬町子ども議会第1日会議録

○平成28年1月28日（木）午後1時30分開議

○場 所 岬町議会議場

○出席議員 次のとおり19名です。

1番	いけ なか かなで 池 中 奏	2番	つ せい くれい は 津 井 紅玲羽	3番	おか た たく ま 岡 田 拓 磨
4番	なかし おじ かい と 中塩路 海 斗	5番	おお やまだ いっ べい 大山田 一 平	6番	き どの きらり 木 戸 きらり
7番	やま もと き い 山 本 希 衣	8番	お ぎき り お 尾 崎 梨 音	9番	おけ たに なな み 桶 谷 七 海
10番	ふく たけ れい な 福 竹 玲 奈	11番	あお やぎ ゆう 輝 青 柳 勇 輝	12番	きた の 晴 ら 北 野 晴 愛
13番	しも で たい し 下 出 泰 史	14番	さか い し 帆 酒 井 志 帆	15番	いわ なが そ あら 岩 永 空 亜来
16番	おお うち はる と 大 内 陽 斗	17番	よし やま さくら こ 芳 山 櫻 子	18番	つじ もと ふう あ 辻 本 芙 杏
19番	きた の いつき 北 野 樹				

○ 傍 聴 15 名

○地方自治法第121条の規定により本会に出席を求めた者は次のとおりです。

町 長	田 代 堯	住民生活課長	波戸元 雅 一
副 町 長	中 口 守 可	観光交流課長	吉 田 一 誠
副 町 長	種 村 誠 之	子育て支援課長	竹 下 雅 樹
教 育 長	笠 間 光 弘	まちづくり戦略室長	保 井 太 郎
岬町議会議長	道 工 晴 久	総 務 部 長	古 谷 清
岬町議会副議長	小 川 日出夫	企 画 政 策 監	西 啓 介
監 査 委 員	反 保 多喜男	財 政 改 革 部 長	四至本 直 秀
学 校 教 育 課 長	澤 憲 一	教 育 次 長	廣 田 節 子
危 機 管 理 担 当 課 長	川 端 慎 也	水 道 事 業 理 事	鵜久森 敦
企 画 政 策 担 当 課 長	寺 田 武 司	しあわせ創造部長	古 橋 重 和
産 業 振 興 課 長	河 合 敦 己	危 機 管 理 監	中 田 道 徳
土 木 下 水 道 課 長	中 谷 博 夫		

○本会の書記は次のとおりです。

議会事務局長 岸 本 保 裕

○会 期

平成28年1月28日（1日）

○会議録署名議員

1 番 池 中 奏 4 番 中塩路 海 斗

議事日程

日程1	議席の指定
日程2	会議録署名議員の指名
日程3	会期の決定
日程4	一般質問

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成28年1月28日子ども議会

質問者		質問事項	質問の要旨	答弁者
淡輪小 大内 陽斗 中塩路 海斗	① ②	美しい岬町について	・ ゴミ箱の設置やリサイクルで再利用を (①、②合同質問)	住民生活課長
淡輪小 下出 泰史 多奈川小 津井 紅玲羽	① ②	交通問題について	・ バスの増設便、バスを中学校の通学時間帯に 走らせてほしい (①、②合同質問)	
淡輪小 山本 希衣 多奈川小 岡田 拓磨 深日小 尾崎 梨音	① ② ③	岬町の魅力づくりについて	・ 人口を増やすための取り組みは (①、②、③合同質問)	企画政策担当課長 学校教育課長
淡輪小 大山田 一平	①	空き店舗の活用について	・ 空き店舗を壊して飲食店などにできないか	産業振興課長
多奈川小 青柳 勇輝	④	岬町の魅力づくりについて	・ サイクリングが楽しめる自転車道がほしい (④質問)	企画政策担当課長
淡輪小 酒井 志帆 木戸 きらり	⑤ ⑥		・ 住みやすい岬町にするには (⑤、⑥質問)	学校教育課長
淡輪小 北野 樹 岩永 空亜来	① ②	安全なまちづくりについて	・ 街灯設置について (①、②合同質問)	土木下水道課長
深日小 桶谷 七海	③		・ 道路の整備・拡幅、街灯、カーブミラーの設置 (③質問)	
多奈川小 北野 晴愛		防災について	・ 災害時の放送を聞こえやすく	危機管理担当課長
多奈川小 福竹 玲奈 池中 奏	① ②	岬町の観光について	・ 特産品や限定品などを活かして観光客の多い 町に (①、②合同質問)	観光交流課長
深日小 辻本 芙蓉		遊び場について	・ 遊具の充実した公園の整備	子育て支援課長
深日小 芳山 櫻子		学校施設について	・ 学校施設の充実	学校教育課長

岬町子ども議会議場配席図

一般傍聴席

	①⑨ ◎議長 淡輪小 北野 樹	
⑩ 多奈川小 福竹 玲奈	⑪ 多奈川小 青柳 勇輝	⑫ 多奈川小 北野 晴愛
⑬ 淡輪小 下出 泰史	⑭ 淡輪小 酒井志帆	⑮ 淡輪小 岩永 空亜 来
⑯ 淡輪小 大内 陽斗	⑰ 深日小 芳山 櫻子	⑱ 深日小 辻本 芙蓉
① 多奈川小 池中 奏	② 多奈川小 津井 紅玲 羽	●副議長 多奈川小 岡田 拓磨
④ 淡輪小 中塩路 海 斗	⑤ 淡輪小 大山田 一 平	⑥ 淡輪小 木戸 きらり
⑦ 淡輪小 山本 希衣	●副議長 深日小 尾崎 梨音	⑨ 深日小 桶谷 七海

出入口

副町長 種村 誠之	副町長 中口 守可	町長 田代 堯
学校教育 課長 澤 憲一	危機管理 担当課長 川端 慎也	企画政策 課長 寺田 武司
危機管理監 中田 道德	まちづくり 戦略室長 保井 太郎	総務部長 古谷 清
企画政策監 西 啓介	財政改革 部長 四至本直秀	
演 壇		
事務 局長 岸本 保裕	議長 淡輪小 北野 樹	
次の議長 深日小:尾崎 梨音 次の議長 多奈川小:岡田 拓磨		
産業振興 課長 河合 敦己	土木下水道 課長 中谷 博夫	監査委員 反保多喜男
住民生活 課長 波戸元雅一	観光交流 課長 吉田 一誠	子育て支援 課長 竹下 雅樹
教育次長 廣田 節子	都市整備部 水道事業 担当理事 鶴久森 敦	しあわせ創造 部 部長 古橋 重和

(午後1時30分 開会)

○北野 樹議長

ただいまから岬町子ども議会を開会いたします。

今回、子ども議会の議長を務めさせていただきます淡輪小学校の北野 樹です。よろしくお願ひします。



それでは、本日の会議を開きます。

ただいまの時刻は午後1時30分です。

本日の出席議員は19名です。

○北野 樹議長

日程1、議席の指定についてを議題といたします。

議員の皆さんの議席は、ただいま座っている議席を指定します。

○北野 樹議長

日程2、会議録署名議員の指名についてを議題とします。

議長において指名を行います。

議席番号1番、多奈川小学校の池中 奏さん、議席番号4番、淡輪小学校の中塩路海斗さん、以上の2名の方を指名いたします。よろしくお願ひします。

○北野 樹議長

次に、日程3、会期の決定を議題といたします。おはかりします。子ども議会の会期は、本日1月28日の1日と決定したいと思いますが、これにご異議はありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○北野 樹議長

異議なしと認めます。よって、この子ども議会の会期は、本日1日と決定しました。

ここで、本日の岬町子ども議会出席者の紹介を行います。

まず、町長さんをはじめ、まちのいろいろな仕事に責任を持って取り組んでいただいている皆さんの自己紹介をお願いします。

(理事者側の自己紹介)

田代町長、中口副町長、種村副町長、笠間教育長、道工議長、小川副議長、反保監査委員、中谷土木下水道課長、河合産業振興課長、竹下子育て支援課長、吉田観光交流課長、波戸元住民生活課長、寺田企画政策担当課長、川端危機管理担当課長、澤学校教育課長

(子ども議員の自己紹介)

多奈川小学校5年、池中 奏
多奈川小学校5年、津井紅玲羽
多奈川小学校6年、岡田拓磨
淡輪小学校6年、中塩路海斗
淡輪小学校6年、大山田一平
淡輪小学校6年、木戸きらり
淡輪小学校6年、山本希衣
深日小学校6年、尾崎梨音
深日小学校6年、桶谷七海
多奈川小学校5年、福竹玲奈
多奈川小学校6年、青柳勇輝
多奈川小学校6年、北野晴愛
淡輪小学校6年、下出泰史
淡輪小学校6年、酒井志帆
淡輪小学校6年、岩永空亜来
淡輪小学校6年、大内陽斗
深日小学校6年、芳山櫻子
深日小学校6年、辻本芙蓉

○北野 樹議長

次に、日程4、一般質問を行います。

順位に従いまして質問を許可します。

質問をする人は、あわてず、はきはきとマイクを使って発言をお願いします。なお、再質問は行いません。

一般質問について同じような内容の質問については、複数のお名前をお呼びしますので、前の席に出てきてください。

淡輪小学校の大内陽斗さん、同じく淡輪小学校の中塩路海斗さん。



○大内陽斗議員

淡輪小学校6年、大内陽斗です。美しい岬町について質問します。



僕は、岬町のごみ箱についてお聞きします。日ごろ遊んでいて、お菓子の袋を捨てようと思ったときに、ごみ箱がなくて困ったことがあります。ごみ箱がなければポイ捨てが増え、まちが汚くなると思います。僕のおばあちゃんは、地区の防犯と清掃活動をしています。僕もたまについていくと、岬公園駅の周りの国道側の出口あたりや歩道橋の近くに、たばこやガムのごみがたくさん落ちていました。缶やペットボトルなどの分別のごみ箱があればと思います。人が大勢集まる施設や人通りの多い道にたくさんごみ箱を設置してほしいです。

以上で質問を終わります。

○中塩路海斗議員

淡輪小学校6年、中塩路海斗です。引き続き質問を



します。

僕は、岬町をよくするために、月に1回岬町のみんなでごみ袋を持って地域を歩き、ごみ拾いをするクリーンの日をつくってほしいと思います。そうしたら道に落ちているごみや、海に捨てられているごみが減って、岬町がきれいになると思います。でも、全部がごみではありません。空き缶、プラスチックごみや紙など、リサイクルできるものは学校や各家庭で取り組み、みんなで力を合わせて再利用したらいいと思います。

以上の質問についての回答をお願いします。

○北野 樹議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。

○波戸元住民生活課長

住民生活課の波戸元です。最初に、淡輪小学校の大内陽斗議員の、施設や人通りの多い道路にごみ箱を設置してほしいというご質問にお答えさせていただきます。

岬町の公共施設には、健康ふれあいセンターピアツァ5や公民館、町民体育館など、住民の方全体が利用する建物や老人憩いの家、また集会所のように各地区の方が利用する建物と、各地区の子どもたちが利用する児童遊園のような広場があります。このような建物には燃えるごみや空き缶、ペットボトルを分けて捨てられるごみ箱が置かれています。学校にもごみを種類ごとに分けるごみ箱を置いていると思います。しかし、議員ご質問の広場や道路にはごみ箱は置いていません。これは、ごみ箱を置くことによって、そのごみ箱にほかのところからいろいろなごみが置かれ、ときには電化製品や金属、布団などが捨てられ、せっかく美化のためにごみ箱を置いているのに、かえってごみが増え、きれいな環境を壊してしまうこと

になるからです。皆さんが出かけられたときに、道路や公園にあるごみ箱にたくさんのごみが置かれているのを見かけたことがあると思います。きれいにするために置かれたごみ箱の回りが、かえって汚くなってしまいます。こうしたことから、ごみは持って帰ってもらおう、ポイ捨てはやめようといったことを呼びかける看板やポスターを使って、環境はみんなで守りましょうという美化への考え方を高めていくことが必要であると考えています。ごみに対する考え方を変えていくことに取り組んでいきたいと考えています。

次に、同じく淡輪小学校、中塩路海斗議員の、月に1回、クリーンの日をつくってはどうかというご質問について、お答えさせていただきます。

日本では平成3年度から、6月の1ヶ月間を環境月間と定めて、いろいろな行事が行われています。岬町では6月の第1日曜日を環境美化行動の日と定め、まち全体がきれいになるように、皆さんの家の周りの道路や水路、公園などを掃除してもらう日を作り、それぞれの地域で活動いただいています。そのほかに地区によっては掃除をする日をつくって、草刈りや掃除をされているところもあります。ただいま議員から、月に1回クリーンの日をつくってはどうかというご提案をいただきました。回数を増やしたり、また日にちを決めることで、かえって住民の皆さんにご負担をおかけすることにもなります。皆さん一人ひとりが、自分たちのまちをきれいにしようという考え方を高める取り組みを進めていきたいと思しますので、皆様のご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○北野 樹議長

次に、淡輪小学校の下出泰



史さん、多奈川小学校の津井紅玲羽さん。

○下出泰史議員

淡輪小学校6年、下出泰史です。岬町の交通問題について質問します。



僕のお兄ちゃんは家でよく、1時間に1本しかバスが通っていないので、1本遅れたら1時間待たないと、と言っています。登校時間の7時から8時、下校時間の4時から6時の間のバスの本数をもう少し増やす計画はないでしょうか。

以上で質問を終わります。

○津井紅玲羽議員

多奈川小学校5年、津井紅玲羽です。引き続き質問します。



中学校へ通学するのに、西畑などに住んでいて、自転車でも遠くて大変な人たちがいます。そこで、中学校の登校時間と下校時間にバスが来てくれたら助かります。もしそれができたら、お年寄りの人も気軽に出かけることができると思います。また、バスの中でまちの人といろいろな触れ合いができ、いざというときに助け合うこともできます。バスを中学校の通学時間帯に走らせることにどうお考えでしょうか。

以上の質問についての回答をお願いします。

○北野 樹議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。

○波戸元住民生活課長

淡輪小学校、下出泰史議員の質問にお答えさせていただきます。

岬町では、平成13年4月から、赤バスと呼ばれていますコミュニティバスを運行し、住民の皆

さんの通勤や通学、お買い物などの移動手段として利用されてきましたが、今年の3月末で、今のバスの会社が運行をやめることになりました。しかし、今までバスを利用していた人はたちまち困ってしまうので、岬町としては、これからの岬町の公共交通をどうすればいいのかなどについて、法律に基づいて、バスを利用している人や、電車、バス、タクシーなどの会社、また国の人などを集めて、バスの運行をどうするかなどについて会議を開き、4月からも引き続きバスを運行できるように取り組んでいます。バスの本数は、今の望海坂から小島までの基本路線は1時間に1本のダイヤを基本にして、4月から1年間を試験的に運行して、その期間の間、いろいろなご意見などをお聞きして、改善できるところから取り組んでいきたいと考えています。

議員ご指摘のバスの増便については、コミュニティバスの運行についての住民アンケートでも、電車との乗り継ぎを良くしてほしい、また運行本数を増やしてほしいなど、いろいろ改善してほしいと要望をいただいています。町としては、以前のように30分に1本のバスを運行したいのですが、本数を増やすには1億円近いたくさんのお金が必要になります。これからもできるだけ多くの方に満足していただけるバスの運行に取り組んでいきますので、ご理解をいただきたいと思います。

続きまして、多奈川小学校の津井紅玲羽議員の質問にお答えさせていただきます。

現在、中学校への通学に赤バスを利用されていることは承知しております。しかし、普段は自転車通学の生徒が多く、あまりバスの利用はされていませんが、雨天のときなどには多く利用されています。ご質問の通学時間帯にバスを走らせてほしいということについて、現在も中学校の登下校時間も考えた運行をしており、雨天にはバスを増

やして運行しています。4月からのバス運行については、先ほども述べさせていただいたように、今の運行状況をできるだけ維持しながら作業を進めており、望海坂から小島まで走る便数を増やす計画もしています。ただいまの中学校の登下校時の時間帯の増便についてのご意見もあわせて、1年間の試験運行の中で検討していきたいと考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。

以上で回答を終わらせていただきます。

○北野 樹議長

次に、淡輪小学校の山本希衣さん、多奈川小学校の岡田拓磨さん、深日小学校の尾崎梨音さん。



○山本希衣議員

淡輪小学校6年、山本希衣です。岬町の魅力づくりについて質問します。



今、岬町は人口があまり増えていません。もっと岬町をPRする必要があると思っています。岬町の自然を壊さないようにポスターを貼ったり、イベントなどを開いてほしいです。イベントを開くための募金活動も住民に呼びかけてするといいと考えています。自然が素敵な岬町をもっとPRして人口を増やす、観光客を増やすことをしてみてもどうでしょうか。

以上で質問を終わります。

○岡田拓磨議員

多奈川小学校6年、岡田拓磨です。引き続き質問をします。



私は、この岬町を人口の多いまちにしたいと思っています。そのために田舎を売りにして、都会から引っ越してもらっ

てはどうでしょうか。それは寂しい田舎ではなく、自然が多くて美しい景色で心がいやされ、自然の中でいろいろ楽しむことができる田舎です。例えば、家庭菜園が楽しめる畑つきの家、近くに海づくりポイントがある家、夕日百選に選ばれた美しい夕日が窓から見える家、毎日近くでサイクリングやハイキングができる家などをキャッチフレーズにして、岬町の安い家や土地をチラシにまとめて都会に売り出したらいいと思いますが、このことについてどう考えますか。

以上で質問を終わります。

○尾崎梨音副議長

深日小学校6年、尾崎梨音です。引き続き質問をします。

岬町は年々人口が減ってきています。私は、たくさんの人たちが岬町に住んでくれたらなと思います。岬町は、空気がきれいで自然があり、景色がきれいです。例えば、小島のとっとパークから見た夕日はとても美しいです。また、海があって、タコなどおいしい海産物がたくさんとれます。私は、岬町に人口が増えるために考えてみました。例えば、若い夫婦や子ども連れの人に住んでもらうために、そういった人が岬町以外から引っ越してきて家を建てるときに、土地のお金を少し安くしてもらえなどの特典があれば、岬町に家を建てる人が増えるんじゃないでしょうか。また、岬町は小学校も中学校も落ちついた環境で、温かい友だちや先生がたくさんいます。その中で中学校の制服をもっとかわいいデザインにするなどの魅力を増やすと、他から移ってくる人が増えると思います。人口を増やすための取り組みはされていますか。

以上の質問についての回答をお願いします。



○北野 樹議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。
企画政策担当、寺田課長。

○寺田企画政策担当課長

淡輪小学校の山本希衣議員、多奈川小学校の岡田拓磨議員、深日小学校の尾崎梨音議員の方から、岬町の魅力づくりについて、人口を増やすための取り組みについてご質問をいただいております。

はじめにご質問にお答えする前に、岬町の人口の状況や取り組みについてお話しさせていただきます。岬町の人口は、1980年、昭和55年の2万2,864人をピークに減少が続いております。このままの状況が続くと、今から25年後の2040年には1万872人と、ピーク時の半分以下まで人口が減少すると推計されております。このように、岬町では人口減少が見込まれていますが、この要因は大きく分けて2つあります。

1つ目は、少子化と高齢化によるものです。これを少子高齢化による自然減と言います。少し難しいですけど覚えて帰ってください。もう一つは、転入者より転出者が多いことです。これを転出超過による社会減と言います。

まず、1点目の少子化と高齢化によるものですが、岬町では子どもが生まれる数が減る一方、医療の進歩により平均寿命が延びた結果、人口全体に占める子どもの割合が低下し、高齢者の割合が高い状況が続いております。このような状況が続くと、子どもが生まれる数より高齢者のほうが死亡する数が多い状況になってしまいますので、人口が減ることになります。

次に、2点目の転入者より転出者が多いことですが、岬町では岬町に入ってくる転入者、他市町村から引っ越しされてくる方よりも、岬町から出ていく転出者、他市町村に引っ越しされる方のほ

うが多い状況が続いております。これは、進学や就職、結婚によって岬町から他市町村に引っ越ししてしまう場合が多いからです。岬町周辺には大学の数が少なく、働く場所も大阪市内や和歌山市内に比べると少ない状況にあることが原因として考えられます。このような要因で、岬町に転入してくる人よりも転出していく人が多い場合も、当然人口が減ってしまうこととなります。

岬町では、このような人口減少が続く状況に対して大きな危機感や問題意識を持っており、人口減少に歯どめをかけるため、さまざまな対策を盛り込んだ計画を策定し、地域の活性化に取り組んでいく取り組みを進めていこうと考えております。

今ご説明した内容を踏まえ、各議員からの質問に回答させていただきます。まず、淡輪小学校の山本議員からは、岬町をPRするイベントを開いてほしい。またイベントの開催のために募金を募ってはどうかのご質問をいただいております。岬町では、まちをPRするイベントとして、深日港から洲本港へのイベント船を運航する深日港フェスティバルや、せんなん里海公園を中心にビーチバレー大会などを行う、大阪マリンフェスティバルなどのイベントを開催しております。これらのイベント運営費用の一部は、岬町のまちづくりに対していただいた寄附金制度を活用させていただいております。この制度は、岬町を応援したい、岬町での思い出を大切にしたい、そんな思いを抱いてくださる方から、まちづくりに活用していただきたいとの思いがこもった寄附金になっており、この寄附金を活用してイベントを開催しております。今後もイベントの開催などを通して、岬町をPRするとともに、まちの魅力を伝えることにより、人口の増加と岬町に訪れる人の数を増やしていきたいと考えております。

次に、多奈川小学校の岡田議員からは、岬町を

人口の多いまちにしたい、そのため田舎を売りにして都会から引っ越ししてもらってはどうか。またキャッチフレーズを作成して岬町の安い家や土地をチラシにして売り出したらどうかとの質問をいただいております。また、深日小学校の尾崎議員からは、岬町は景色もきれいだし自然もたくさんあるので、何か住むのに特典があると人口が増えるのではないかとのご質問をいただいております。これらの質問について、まとめてお答えさせていただきます。

岬町では、結婚を機会に町外へ引っ越しする人が多いという課題を踏まえ、若い世代が岬町で生涯にわたり住み続けていただけるように、結婚、子育て環境の対策に取り組んでいます。人口を増やす取り組みとしては、「岬ぐらしはじめませんか？」と題するチラシを作成しております。チラシについては、役場やイベント開催時に配布しております。「笑顔いっぱい、ぬくもりあふれるいきいきタウン、海と山が美しいまち岬町！」をキャッチフレーズに、新築・中古住宅購入費用や、賃貸住宅の家賃に対する補助を行っております。また、転入者の方で大阪方面に通勤、通学されている方に対して、特急サザンの座席指定券をお渡しする制度や、出産された方に出産祝い金を交付する制度もつくっております。岡田議員からご指摘いただいたように、今後も田舎というキーワードを活かし、岬町の豊かな自然環境や生活の仕方など、岬町で暮らす魅力を情報発信するとともに、尾崎議員からご指摘いただいた岬町に暮らす特典を提示することで、若い世代の人たちに岬町の魅力をPRし、人口増加につなげたいと考えております。

次に、深日小学校、尾崎議員からのご質問をいただいた中学校の制服については、学校教育課、澤からお答えいたします。以上となります。

○北野 樹議長

学校教育課、澤課長。

○澤学校教育課長

私の方からは、深日小学校の尾崎梨音議員の、中学校の制服をもっとかわいいデザインにしてほしいという質問に、お答えさせていただきます。

岬中学校の制服につきましては、今の校舎を建てるときに合わせて、平成8年に、今、緑を基調としたブレザータイプの制服に変わっております。今の制服になってから、約20年が経ちまして、時代に合わせた制服に作り変えた方がいいのではないかという声もありまして、岬中学校の中で新しい制服の検討を行う予定があると聞いております。できるだけ早く新しい制服ができるように、私たち教育委員会も、岬中学校と協力して取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

以上です。

○北野 樹議長

皆さんにおはかりいたします。

一般質問の途中ですが、10分間の休憩をとりたいと思いますが、ご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○北野 樹議長

異議なしと認めます。

それでは休憩をします。

休憩午後 2時01分

再開午後 2時11分

○北野 樹議長

休憩前に引き続き会議を再開します。

ここで議長を交代します。

皆さんのご協力により、議長としての職務を無事務めることができました。ありがとうございました。

副議長の尾崎梨音さん、議長席をお願いします。

○尾崎梨音副議長

私は、副議長の深日小学校の尾崎梨音です。これより議長の職務を行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



それでは、休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、淡輪小学校の大山田一平さん。

○大山田一平議員

淡輪小学校6年、大山田一平です。空き店舗の活用について質問します。



ぼくは望海坂に住んでいます。用事があり母と役場に行くことがあります。そのときに長松海岸などを通りますが、深日港周辺の小さな店が閉まっています。26号線沿いにも古くなった建物もあります。岬町の特産物を多くの人に知ってもらいたいと思うので、それを活かした飲食店などにしてもらえないでしょうか。

以上の質問について回答をお願いします。

○尾崎梨音副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。産業振興課、河合課長。

○河合産業振興課長

私は、産業振興課の河合です。大山田一平議員の質問に答えさせていただきます。

確かに国道26号線以外にも町内を歩くと、数年前まで営業していたお店屋さんが閉まっているのをよく見かけるようになりました。岬町には商工会という組織があって、岬町の特産物を創ろうと古代米の商品開発に取り組んでおります。開発した商品、例えば古代米を使ったうどんなどを飲食店に使用していただくことを計画しています。また、岬町の産業を活気づけるべく、今、淡輪に道の駅を建設しようとしております。道の駅ができたら、施設内にいろいろなお店屋さんができるからであります。そのお店屋さんに農家の方が作ってくれた農作物、野菜や、漁師さんがとってきてくれた魚などを出品していただくことにより、農家の皆さん、漁師さんもより多くの野菜や魚を売ることができます。また、施設内には飲食店を造る予定であり、岬町で収穫された農作物、海産物を使った料理も考えております。そのほか、大山田議員が生まれるずっと昔、岬町の深日港と淡路島の洲本とでフェリーの行き来がありました。そのときは深日港の周辺にはお店屋さんがたくさんありました。しかし、今はフェリーの行き来はなく、人の往来もなくなり、活気がなくなっております。そこで、その航路を復活する計画をしております。その計画を実現するために、この4月に観光案内所が深日港に建設されます。その観光案内所を活用して、大勢の観光客の方に岬町の特産物の紹介、飲食店をはじめ多くのお店なども紹介することにより、活気づくと思われます。このように、深日港周辺は昔のようににぎわいを見せ、新しいお店も増えてくると考えております。

以上です。

○尾崎梨音副議長

次に、多奈川小学校の青柳勇輝さん。

○青柳勇輝議員

多奈川小学校6年、青柳勇輝です。岬町の魅力づくりについて質問します。



岬町でサイクリングをしている人をよく見ます。ぼくも父とよくサイクリングをするのですが、車が横を通るたびにヒヤッとします。道路に自転車道が欲しいです。自転車道ができると、今より安心してサイクリングができます。また、交通事故が減り、サイクリングが楽しめる岬町の魅力が出ると思われます。どう思われますか。

以上の質問についての回答をお願いします。

○尾崎梨音副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。企画政策担当、寺田課長。

○寺田企画政策課長

多奈川小学校の青柳勇輝議員から、サイクリングが楽しめる自転車道についてご質問をいただいておりますので、ご回答させていただきます。

近年、自転車は環境に優しい交通手段として見直され、健康志向の高まりを背景に、その利用ニーズが高まっております。岬町にも休日になるとたくさんの自転車利用者が訪れており、皆さんも町なかで自転車利用者が走っている姿を目にする機会が多いと思われます。その一方で、近年、交通事故件数が減少傾向にある中で、自転車と歩行者による事故件数は増加傾向にあります。また、これまでの岬町の道路整備では、自転車道といった自転車の利用者が安全に利用できるような観点から、道路整備が進められてこなかったため、快適に自転車が走行できるように整備されているとは言いがたい状況にあります。岬町には幅の広い道路、狭い道路がたくさんありますので、現在の

利用環境の問題点を明らかにし、自転車、歩行者が安全に安心して通行できる道路環境に見直していく必要があると考えております。

また、岬町では、魅力あふれるまちを築く取り組みの一環として、岬町総合戦略という今後5年間の岬町の活性化の取り組み計画を作っております。その計画の中には、快適な自転車走行空間の確保、自転車の利用促進という項目がありますので、町としてもサイクリングが楽しめる環境づくりに取り組んでいきたいと考えております。今後は、深日港に新たに設置される観光交流センターを拠点としたサイクリングコースを整備するとともに、多目的公園で開催しています自転車のイベントを活かした自転車によるネットワークの構築や、自転車走行環境の改善などに取り組んでいく予定ですので、よろしくお願いいたします。

以上となります。

○尾崎梨音副議長

次に、淡輪小学校の酒井志帆さん。同じく淡輪小学校の木戸きらりさん。



○酒井志帆議員

淡輪小学校6年、酒井志帆です。岬町の魅力づくりについて質問します。



私の家の前はまだ建物が建っていないので、たくさんの草が生えています。そのせいで、ごみを捨てられてしまいます。簡単にごみを捨てる人が増えると、今まで持ち帰っていた人も捨てるようになりました。その人たちが捨てたごみも、結局、家の前だからという理由で、私たちが拾うことになるのです。岬町は自然がいっぱいです。私は、岬町のきれいな海や夕日が大好きです。このきれいなまちをどのようにして守っていくのか考えることがあります。例えば、シンガポールではきれいな国にするために厳しい条例があります。岬町でもそんな条例を作ったら、ごみ問題は減少すると思います。看板や呼びかけも、きれいなまちを守る1つの方法です。今よりよい岬町にするために、これから予定している取り組みを教えてください。

以上で質問を終わります。

○木戸きらり議員

淡輪小学校6年、木戸きらりです。引き続き質問をします。



住みやすい岬町にするにはどうしたらいいか。学校にクーラーやプールを設置してほしいです。まち全体をリニューアルする必要があると思います。例えば、空気がきれい、海がきれいな田舎の雰囲気を残しながら、働くことができるところを増やしてほしいです。会社や工場が建つといいと思います。また、町に街灯や図書館、銀行ATMを作ったり、カラスや猫に荒らされないごみステーションを作ったりしたら、子どもから大人まで住みたいと思える岬町になると思います。

以上の質問についての回答をお願いします。

○尾崎梨音副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。企画政策担当、寺田課長。

○寺田企画政策担当課長

淡輪小学校の酒井志帆議員と、同じく淡輪小学校の木戸きらり議員のご質問にお答えさせていただきます。

酒井議員のほうからは、岬町は自然がいっぱい

でとてもきれいなまちで、このきれいなまちをどのように守っていくか、そしてさらによくするために予定している取り組みを教えてください。また、木戸議員からは、住みやすい岬町にするには、まち全体をリニューアルする必要があるのではとのご質問をいただいておりますので、回答させていただきます。

はじめに、岬町の現状をお話しさせていただきます。岬町は大阪府最南端のまちであり、和歌山県との県境のまちです。全体の80%が山地となっていて、中心市街地は海に面した土地柄となっております。温かな瀬戸内気候の自然豊かな場所で、海を挟んで淡路島と対面しているまちでもあります。平成28年1月1日現在の人口は、1万6,488人となっており、岬町を訪れる人の数は年間100万人になります。大阪府の中でもきれいな海を誇る岬町には、ときめきビーチと呼ばれる淡輪海水浴場があり、夏には海水浴客でにぎわうとともに、さまざまなイベントが行われております。また、ヨットハーバーがあり、ヨットレースなど海のレジャーも盛んに行われております。岬町は大阪府に唯一残る自然海浜を持つまちでもあり、海岸遊びを楽しむこともできます。また、岬町のほぼ中央にある飯盛山は標高384メートルあり、ハイキングコースも整備されていて、頂上から臨む景色はすばらしいものがあります。このように岬町は海や山、小川など、自然環境にも恵まれた、とてもきれいな素敵なまちです。

それでは、酒井議員、木戸議員のご質問に回答させていただきます。

きれいなまちを守るための取り組みとして、岬町環境の美化に関する条例を制定しております。この条例は、町民一人ひとりの環境美化に対する意識を向上させ、まち、町民、事業者、所有者の責任と役割を明確に示すとともに、それぞれが協

力連携し、快適で安全な生活環境のもとで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指すことを目的としております。

それでは、普段から子どもから大人まで誰もができる取り組みについてお話しさせていただきます。一人ひとりがルールとマナーを守ることです。例えば、ごみはごみ箱に捨てる、自宅にごみを持ち帰る、ペットの散歩の際にはフンを持ち帰る、近隣の迷惑にならないよう自分の敷地内にごみを放置せず適切に処理する、また他人に不法投棄されないよう、日ごろから定期的な清掃、見回りや雑草の刈り取り、樹木の枝切りなどをするなど適正管理に努める。このように身近なことからみんなが意識して気をつけることで、自然に恵まれたきれいなまちが維持できると考えております。また、岬町では、住民の環境美化への意識が高く、ボランティアによる長松自然海浜や番川の清掃活動、6月の第1日曜日に実施している環境美化行動の日における住民による清掃活動や美化行動が行われており、豊かな自然の中で安心して暮らせるまちづくりに今後もより一層取り組んでいくことで、住みやすい岬町になると考えております。

次に、木戸議員から、まち全体をリニューアルすればとのご質問ですが、誰もが住みなれた地域の中で元気に生き生きと安心して生活できる環境を維持するため、地域の住民と役場が協力して進めることとしております。これは、災害に強いまちづくりや、これまで整備した施設の維持更新を含めて、計画的に整備を進めていきたいと考えております。岬町には多奈川地区に多目的公園、いきいきパークみさきがあり、会社や工場が建設できる場所があります。このように働く場所を増やすことは、岬町の魅力になると考えております。少しずつですが、まちがリニューアルされており、安全で快適な暮らしを守るまちづくりを進めるこ

とで、住みやすい岬町になると考えております。

次に、淡輪小学校、木戸議員からご質問いただいた学校施設に関しては、学校教育課、澤より回答させていただきます。

以上となります。

○尾崎梨音副議長

学校教育課、澤課長。

○澤学校教育課長

私の方からは、淡輪小学校の木戸きらり議員のご質問にお答えさせていただきます。

小学校にプールを作ってほしいという質問ですが、淡輪小学校の児童につきましては、昭和58年に今の淡輪保育所と町民体育館の間に作った町民プールを利用してもらってまして、また深日小学校、多奈川小学校の児童につきましては、昭和51年に作りました岬中学校にある学校プールを利用してもらっておりました。しかしながら、年月がたちまして修理箇所が多くなって費用がかかるようになり、また屋外にあるプールということで、安全面にも問題があることから、町民プールは平成17年、学校プールは平成18年に閉鎖することになりました。その後は、健康ふれあいセンターにある室内プールを小学校の水泳授業で使ってもらっております。健康ふれあいセンターのプールで行う水泳授業では、専門のインストラクターが指導してくれますので、レベルの高い水泳技術をマスターすることができるほか、監視体制も整っておりますので、安心して泳ぐことができます。また、室内プールということで年中使ってもらえますし、皆さんには水泳授業だけでなく、このプールを積極的に使っていただきたいと思っております。

次に、小学校の教室にクーラーをつけてほしい

という質問についてですが、毎年夏に暑い教室で勉強されるのは大変なことだと思っております。学校の環境につきましては、国の基準で温度、湿度などの基準が決められております。その基準によりますと、教室の温度は夏は30度以下、冬は10度以上が望ましいとなっております。昨年の9月に岬町の小・中学校の教室の温度を、学校の先生方をお願いして調べていただいた結果、小学校3校で基準を超えていた日数は最大で3日ということとなっております。昨年は基準を超えた教室、日数は少なかったですが、これからも皆さんが、どのような環境の中で勉強されているのか調査を続けていきたいと考えております。その結果、必要であれば教室にクーラーを設置することも検討していきたいと思っております。

以上です。

○尾崎梨音副議長

次に、淡輪小学校の北野 樹さん。同じく淡輪小学校の岩永空亜来さん。深日小学校の桶谷七海さん。



○北野 樹議長

淡輪小学校6年、北野 樹です。安全なまちづくりについて質問します。

私の住んでいる校区には暗い道があります。望海坂や26号線沿いは明るいのですが、別所の台、鴻ノ巣台のほうに行くと街灯が少なく暗くなります。習い事の帰りや友だちと遊んでの帰り道、特に冬は真っ暗です。家族の人も心配しています。安全で住みよい岬町にするため、街灯設置の計画はありますか。ぜひ帰り道、安心して通れるよう街灯の設置をお願い



します。

以上で質問を終わります。

○岩永空亜来議員

淡輪小学校6年、岩永空亜来です。引き続き質問します。

岬町は道が狭いところが多いです。淡輪小学校の周りの細い路地は狭くて通りづらいし、防犯上の問題もあります。ひったくりなどの犯罪の増加にもつながると思います。狭い道を広くしてほしいなどぼくは思います。また、街灯も少ないので増やしてください。

以上で質問を終わります。



○桶谷七海議員

深日小学校6年、桶谷七海です。引き続き質問をします。

深日の町なかに入ると、道は狭くて見通しも悪く、そのため怖いと感じることが多くあります。以前、自転車や自動車と接触しそうになったこともありました。また、消防車がぎりぎり入れるほどの道幅で、何かあったときのことを考えると不安になります。道を広げたり、街灯を増やしたり、カーブミラーを増やしたりすることはできますか。また、道の舗装が悪いところがあったり、ごみが落ちていることもあります。そのため、目や足の不自由な人が困っているのではないかと思います。道路をきれいに整備してもらえると安心です。また、ごみをみんなで拾う清掃活動を自分たちも積極的に行って、ごみへの意識を高めていきたいと思っています。

以上の質問についての回答をお願いします。



○尾崎梨音副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。

土木下水道課、中谷課長。

○中谷土木下水道課長

淡輪小学校の北野 樹議員と岩永空亜来議員からのご質問にお答えさせていただきます。

最初に、岬町の防犯灯の設置状況について説明させていただきます。岬町では、現在3, 524基の街灯があります。街灯の設置間隔は望海坂を含め、町なかでは約30メートルごとに設置しています。

次に、今後の街灯の設置の計画についてご説明します。岬町では、皆さんのお住まいされている地域の役員さんに、毎年街灯の設置についてどの場所が暗いか、設置数が少ないかとかのご要望をお伺いして、できるだけ設置するようにしております。今後も、できるだけ要望どおり設置できるように考えていきますので、よろしく願います。

以上で回答とさせていただきます。

続きまして、深日小学校の桶谷七海議員からのご質問であります、消防車など救急車が入れるように道を広げて道路整備をしてほしい。また、街灯やカーブミラーをもっと設置してほしいという内容のご質問にお答えします。

最初に、道路拡幅と道路整備についてお答えします。消防車などの緊急車が入れるように道を広げることは大変重要なことだと思っています。ただ、ご存じのように、今皆さんが通っている道は、皆さんが生まれる前からほとんど道幅は変わっていないのが現状です。道を広げるためには、皆さんの思いのある大切なおうちや土地を町が買って工事をすることに協力していただく必要があります。町としましても、現在の道幅を広げたいと思

っていますが、なかなか進んでいないのが現状です。今、皆さんが使っていただいている道を大事に使って、悪いところは直して、長く使ってもらえるように努力しております。皆さんも、みんなが通る道なので、道にごみを捨てたりせず、いつもきれいにするように心がけて通ってもらえるようにお願いします。

続きまして、街灯やカーブミラーをもっと設置してほしいという内容のご質問にお答えします。街灯についてのご質問につきましては、先ほどお答えしていますので、今回はカーブミラー設置についてお答えします。カーブミラーの設置につきましては、見通しの悪いところには皆さんがお住まいされている地域の役員さんからの要望に基づいて、できる限り設置するようにしております。ただ、学校でも習っていると思いますが、見通しの悪い交差点ではカーブミラーを設置している場所であっても、一旦停止して安全を確認して通行するようにしてください。皆さんのおうちの方々は、みんなが家を出て帰るまで、安全で事故のないことを願っていますので、道路を通行する際は自動車、自転車には十分注意をし、安全に通行するようにしてください。

以上で回答とさせていただきます。

○尾崎梨音副議長

皆さんにおはかりいたします。

一般質問の途中ですが、10分間の休憩をとりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○尾崎梨音副議長

異議なしと認めます。

それでは休憩をします。

休憩午後 2時40分

再開午後 2時50分

○尾崎梨音副議長

休憩前に引き続き会議を再開します。

ここで議長を交代します。

皆さんのご協力により、議長としての職務を無事務めることができました。ありがとうございました。

副議長の岡田拓磨さん、議長席へお願いします。

○岡田拓磨副議長

私は、副議長の多奈川小学校の岡田拓磨です。これより議長の職務を行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



それでは、休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、多奈川小学校の北野晴愛さん。

○北野晴愛議員

多奈川小学校6年、北野晴愛です。岬町の防災について質問します。



私は小島に住んでいます。町内放送が聞こえてきたら窓をあけて聞くようにしています。ですが、風向きによって災害時などの放送が聞こえにくくてわからないこともあります。また、大雨や風の激しい台風のときは窓を開けられないので、自宅待機の放送が聞き取れないこともあります。お年寄りの多い岬町なので、大雨のときはその雨の音で聞こえにくくて困っている人も多いと思います。もっと聞こえやすくするためには、スピーカーを増やすなどすればよいと思うのですが、どうでしょうか。

以上の質問についての回答をお願いします。

○岡田拓磨副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。
危機管理担当、川端課長。

○川端危機管理担当課長

危機管理担当課長の川端です。多奈川小学校、北野晴愛議員のご質問にお答えさせていただきます。

災害が発生すれば、正しい情報を知ることが大切です。その情報を知る方法の1つが、防災行政無線からの放送です。岬町では、町内に60カ所の防災行政無線局があります。防災行政無線局とは、皆さんも見たことがあると思いますが、スピーカーのついたポールです。このポール1つ当たり3つから4つのスピーカーがついていて、それぞれのスピーカーの向きで放送が聞こえます。防災行政無線の放送は、災害の発生時はもとより役場からの行事のお知らせや、正午と午後5時の良いこの皆さんのお知らせなどが放送されています。防災行政無線は、普段の役場からのお知らせに加え、災害情報を住民の皆さんに放送するものでありますが、住民の方からは、聞こえにくいというお話を聞くことがあります。この聞こえにくい原因の1つに、現在の住宅が非常に気密性の高い住宅になっていることが挙げられます。気密性の高い住宅とは、冬場には暖房で暖められた部屋の空気を外に逃がさない、外の冷たい空気を部屋の中に入れないなど、省エネ効果がある住宅のことです。この気密性の高い住宅では、道路の騒音などが家の中まで入ってきにくくなるなど、防音効果もあります。この防音効果が防災行政無線を聞こえにくくする原因となっています。また、台風などが接近した場合は、強い風による被害を防ぐため、おうちでは雨戸を閉めます。そこに大雨が降ると防災行政無線はますます聞こえにくくな

ります。しかし、災害は皆さんが部屋にいるときに発生するとは限りません。学校の登下校のとき、公園で遊んでいるときなど、大きな地震が起これば、この防災行政無線の放送で津波などの情報などを聞いて、いち早く少しでも高い場所に避難してもらいたいと思います。

防災行政無線のスピーカーをもっと増やしたらいいのではないかとのご質問ですが、今後、岬町ではこの防災行政無線を新しくすることを考えています。その中で、防災行政無線局の場所、スピーカーの数や個別受信機と言ってラジオのようなものですが、防災行政無線の放送が皆さんのおうちで聞けるようなものを考えていきたいと思っております。

以上です。

○岡田拓磨副議長

次に、多奈川小学校の福竹玲奈さん。同じく、多奈川小学校の池中 奏さん。



○福竹玲奈議員

多奈川小学校5年、福竹玲奈です。
岬町の観光について質問をします。

私は、この岬町を観光客の多いまちにしたいと思っています。その理由は、岬町がにぎやかになり、その人たちが岬町でお金を使ってくれて、まちが豊かになると思うからです。しかし、大阪から来る人はみさき公園だけで帰ってしまいます。みさき公園からこのまちなかの場所にも寄ってもらえるようにすればいいと思います。例えば、多奈川の山でハイキング、岬町の海で海づりや磯遊び。他にもいきいきパークでアスレチックやボール遊びなど楽しみながら運動ができる施設をつくったらどうでしょう



か。岬町全体で観光スタンプラリーができるようにするのもいいなと思います。また、道路や駐車場、交通機関なども改めて考え、交通の便利な岬町にすれば、もっと観光客も増えると思いますが、このことについてどう考えますか。

以上で質問を終わります。

○池中 奏議員

多奈川小学校5年、池中奏です。引き続き質問をします。



ぼくは、岬町のことをもっとアピールするために、みさっきーのパッケージで岬町の特産品や限定品を売り出したらいいと思います。また、新鮮な魚を使った押しずしなど、岬町らしい食べ物を売ったら、岬町のお店に来る人も増えると思います。商品や食べ物が人気になると、いっぱいお客さんが来て、お店で働く人も増えます。そして、お客さんがお金をたくさん使ってくれて、岬町が豊かになるとと思いますが、どうでしょうか。

以上の質問についての回答をお願いします。

○岡田拓磨副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。
観光交流課、吉田課長。

○吉田観光交流課長

観光交流課の吉田と申します。多奈川小学校、福竹玲奈議員の、みさき公園以外の観光スポットにも観光客の皆さんが立ち寄ってもらえるように、スタンプラリーや道路整備などをして、観光客を増やすことについて。そして、同じく多奈川小学校の池中 奏議員の、お店のパッケージにみさっきーのイラストを使い、新鮮な魚を使った押しずしなど、特産品を活かして観光客の多いまちに。

のご提案と、このことへの考えについてのご質問にお答えさせていただきます。

まずはじめに、福竹議員からご提案のありましたスタンプラリーのお話ですが、岬町に来られた観光客の皆さんが、町内のいろいろなところを回っていただく手法といたしまして、とてもいい発想だと感じました。ぜひこのご提案をこれからの検討に加えさせていただきたいと思います。

では、本来のご質問にお答えします。まずはじめに、皆さんは岬町に年間どれぐらいの方が遊びに来られているかご存じですか。実は岬町には年間約100万人の方が遊びに来られているということです。そして、福竹議員のお話にあったみさき公園は、そのうちおよそ40万人で、その他、海水浴やマリンスポーツ、海づり、ゴルフ、ハイキングなどで約100万人となっているようです。

今、まちでは150万人の突破をめざして、それを目標にして頑張っているところです。そして、みさき公園以外の観光スポットにも立ち寄ってもらえるように、まちの魅力をホームページや観光ガイドマップなどで情報発信しているところです。また、近くの市町の皆さんとも協力して、国内では東京や北海道、広島など。また海外では台湾にもPR活動をしたりしています。それに岬町のマスコットキャラクターの、みさっきーとみさきーちよも、まちのいいところを積極的にPRしてくれています。そして、今、まちでは海にまつわるさまざまな施設や地区を、大阪府で初めて国の「みなとオアシス」という制度に登録しまして、「みなとオアシスみさき」として、まちの人や町外の方に広くPRすることで、多くの人たちが港や海岸を訪れ、海に親しみ交流することで、まちのにぎわいを生み出す取り組みを進めています。この春には深日港に、「みなとオアシスみさき」の基本施設となる深日港観光案内所もできる予定

となっております。今、この施設を皆さんに親しまれる施設となるように愛称を募集しているところです。皆さんにも先日、先生を通じて応募をお願いしたところで、たくさんの応募をいただきありがとうございました。この観光案内所ができれば、深日港を核として淡輪から小島まで、まちの皆さんと一緒に港のにぎわいをつくり出して、たくさんの方に遊びに来てもらえるように取り組んでいきます。これらのことを叶えるためにも、福竹議員のスタンプラリーや道路整備などのご提案を含め、さらに観光振興の取り組みを推進していきますので、ご理解のほどお願いします。

続きまして、池中 奏議員のご質問にお答えさせていただきます。

まずはじめに、池中議員からご提案いただきましたお店のパッケージに、みさっきーのイラストを使用してもらうのは、まちのPRにもつながりましてとてもいい発想だと思います。池中議員の言われるとおり、岬町には新鮮な魚がたくさんとれます。アナゴやハモ、サバなど、地域で魚を使った押しずしが食文化として伝えられてきました。私も大好きな食べ物の1つです。また、一方で、岬町の新たな特産品の開発については、岬町商工会の皆さんにご協力をいただき、取り組みを進めています。1つの例としましては、古代米を育て、それを使用して古代米うどんなどが開発されたりしています。まちでは、この開発をバックアップし、今後も続けてまいりたいと考えています。

また、お店をされている方が新鮮な魚介類や農作物を使い、人気の特産品などを作ってくれることは、まちとしても大変期待するところであります。みさっきーのイラストの使用は、まちの魅力をPRしてもらえることであれば、観光交流課の窓口で使用申請をしてもらえば活用もしていただけます。そのようになっておりますので、このよ

うにみんなで力を合わせていろいろとPRすることで、池中議員の言いますとおり、まちがにぎわい、元気になり、そしてまちを訪れる人が増え、まちで働く人が増え、まちに住みたいという人が増えるように、さらに推進していきたいと考えています。このたびは貴重なご提案をありがとうございました。お二人のご提案を、これからの検討に加え、多くの観光客の皆さんが岬町に訪れ、住みたいと言ってくれるような観光振興のまちづくりの推進に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

以上です。

○岡田拓磨副議長

次に、深日小学校の辻本芙蓉さん。

○辻本芙蓉議員

深日小学校6年、辻本芙蓉です。
遊び場について質問します。

深日の公園を増やしたりする予定はありますか。私は、時々公園で遊ぶことがありますが、公園の広さや数を考えると、多くの人と一緒に遊ぶことができないと思います。今は公園で遊べない子はガレージの前の広場を使ったり、道路で集まるなどして遊んでいます。そんな風に遊ぶと、ガレージを使う人に迷惑になるし、車が通るので危険です。また、草がたくさん生えていたり、ごみが落ちていることもあり気になります。私の考える理想の公園は、ドッジボールや鬼ごっこができる広い広場やローラー滑り台やバスケットボールリングなど、楽しい遊具がある公園です。また、ベンチなどがあると、子どもも大人も座って話をするができます。そのような公園があれば運動する人が増え、体力がアップすると思いま



す。私たちも公園の使い方のルールを決めるなどして、きれいで楽しい公園づくりを維持することができますと考えます。

以上の質問についての回答をお願いします。

○岡田拓磨副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。
子育て支援課、竹下課長。

○竹下子育て支援課長

深日小学校、辻本英杏議員の質問にお答えいたします。

まず、今現在、公園がどのようになっているのかを説明いたします。岬町では、公園のことを児童遊園と呼んでいます。岬町全体で53カ所の児童遊園があります。深日地域には8カ所の児童遊園がありますが、どの児童遊園もそんなに広くはありません。また、ブランコや滑り台、ジャングルジムなどの遊具のない児童遊園もあります。児童遊園の草刈りや清掃は、地域の人たちの協力を得ながら行っています。草刈りについては、年に何回かしないとすぐに伸びてきてしまいます。しかし、児童遊園の数が多いため、そう何回も草刈りができないので、どうしても草が伸びている期間ができてきてしまいます。また、遊具については、毎年点検を行い、危険度の高いものから順に必要な修繕を行っています。

次に、深日地域での児童遊園についての考え方について説明いたします。深日地域は、他の地域と比べて児童遊園が少なく、特に町なかには少ないと感じています。また、皆様方のお父さん、お母さんから、公園を作ってほしいというご意見をいただいています。そのようなことから、この4月から深日保育所が深日小学校に引っ越しをします。その深日保育所の跡地などを候補として、

地域の人たちのご意見も伺いながら、みんなが一緒に遊べる広くて、そして誰もが安全で安心して遊べる場所づくりを考えていきたいと思っています。

最後にお願ひがあります。児童遊園はその地域の憩いの場でございます。その憩いの場をいつもきれいにするには、役場だけでは限界があります。その地域の協力が必要です。自分たちの地域は自分たちできれいにしようという気持ちを持っていただいて、草刈りや清掃などについて、できれば地域の人たちとともに保護者の方々や皆さんにも、できる範囲でご協力いただけたらありがたいなと思っています。

○岡田拓磨副議長

次に、深日小学校の芳山櫻子さん。

○芳山櫻子議員

深日小学校6年、芳山櫻子です。
学校の施設について質問します。

学校の施設について、こんな学校になったらと思うことがあります。友達が夏に足にけがをしてしまい、車椅子と松葉づえの生活をすることになりました。そのために教室に行くまでに階段を上るのにとても困っていました。今は給食用のエレベーターしかありませんが、今後、エレベーターを設置してもらい、バリアフリー化できるといいなと考えます。

次に、深日小学校では校舎の耐震工事が行われていました。校舎が安全になることはとてもいいことですが、工事が続いていて少し勉強がしにくいときがありました。これからの工事の予定など教えていただきたいと思います。

最後に、みんなが気持ちよく使えるような学校施設として、私はきれいなトイレになればと思っ



ています。明るくきれいで、鏡などついていて、快適に使える、そんな設備があるとうれしいです。私たちは、もうすぐ卒業しますが、これから深日小学校で生活する子どものために、毎日楽しく過ごせる校舎になってほしいと思います。

以上の質問についての回答をお願いします。

○岡田拓磨副議長

ただいまの質問に対する回答をお願いします。
学校教育課、澤課長。

○澤学校教育課長

それでは、深日小学校、芳山櫻子議員の質問にお答えさせていただきます。

まず、小学校にエレベーターやスロープなどを設置するバリアフリー化についてですが、皆さんが通っている小学校の施設は、たくさんの児童が1日を過ごす、勉強・生活の場となっており、児童の健康と安全を十分に確保して、快適で豊かな空間をつくる必要があると考えております。また、障がいのある児童が安全に小学校での生活を送ることができるように、小学校の施設において、必要に応じた対策を行う必要があり、小学校の中にスロープとかエレベーターなどの設置も必要であるということも理解しております。

現在、岬町には淡輪小学校、深日小学校、多奈川小学校という3つの小学校がありますが、それぞれの小学校につきましては、トイレの段差解消など、一部バリアフリー化ができていないというのが実情です。町内の小学校につきましては、建設されてから40年前後たっておりまして、バリアフリー化以外にも古くなって直す箇所がたくさんあります。そのため、バリアフリー化を含めた古い箇所を全体的に直す計画を作って、安全で快適な環境づくりを進めていきたいと考えておりま

す。

次に、深日小学校の今後の工事の予定についてお答えさせていただきます。深日保育所が深日小学校に移るための工事が昨年の10月から始まっております。校長室とか職員室が平成27年中に引っ越しされたのは、深日小学校の皆様もご存じのことと思います。現在は、前の職員室を保育室に、前の校長室と職員室に変えるなどの工事が行われておりますが、3月末までには全て終わりました。4月からは保育園児が入る予定となっております。あとしばらく工事が続きまして、勉強がしにくいという時があるかもしれませんが、ご協力をお願いしたいと思います。また、4月から深日保育所の園児が来られますので、深日小学校の皆様方につきましては、温かく迎えていただきたいと思っております。

最後に、きれいなトイレにしてほしいという質問についてお答えさせていただきます。各小学校にある和式トイレにつきましては、平成24年度に洋式トイレに改修する工事を行っております。深日小学校のトイレにつきましては、来年度、平成28年度に一部トイレの改修を検討しております。一度に全部のトイレを改修するのは難しいですが、少しずつ改修を進めていきたいと考えております。また、改修以外にもトイレの壁を明るくきれいに塗りにかえるなど、先生方や地域の皆さん方のご協力を得ながら、取り組めることもあるかと思っております。今後、各学校の先生方と相談しながら考えたいと思っておりますので、そのときには生徒の皆さん方のご協力もお願いしたいと思います。

以上です。

○岡田拓磨副議長

これをもって一般質問を終了いたします。

皆さん、お疲れさまでした。

ここで田代町長さんと道工議長さんから、本日の子ども議会に対するまとめの講評をお願いします。

田代町長さん、よろしくをお願いします。

○田代町長

ただいま議長のご指名をいただきましたので、町長の田代 堯からお話をさせていただきます。



今日は淡輪、深日、多奈川、それぞれの小学校を代表して選出された子ども議員の皆さん、本当に長時間に渡りお疲れさまでございました。皆さんが参加していただいたおかげで、本日このように子ども議会を開催することができましたことを、本当にうれしく心から感謝を申し上げる次第です。

私は、町長として岬町を豊かな自然、心通う温もりのまちみさきにしたいと、毎日一生懸命仕事をしております。その私の思いが間違っていないということを、今日、子ども議会を通して改めて教えていただきました。ごみのこと、また防犯灯や自転車道、道路の整備、赤バスの問題、さらには行政無線の問題、そして公園の広場の問題、人口が減ってきて大変だから何とかしないといけない、岬町のすばらしい自然を活かしてたくさんの人を呼べないかな、中学校の制服のリニューアルついてなど、児童の皆さんのお声を聞かせていただき、制服に関心があることも改めて知ることができました。このように、さまざまな分野において子ども議員の方々から、とても貴重なご意見・ご提案をたくさんいただきました。これらはまさに今、岬町が課題の解決に向け、全力で力を注いで取り組んでいる問題ばかりであります。岬の子どもたちが岬町のことをきちんと見てくれて

いて、こんなにきちんとまちの将来のことを考えてくれているとは思っていませんでした。皆さんに驚かされましたし、すごく感動をしております。そして、心からうれしく思っております。子ども議員の皆さん、本当にありがとうございました。今後、子ども議員の皆様のご意見とご提案をしっかりと受けとめて、これからの町政運営に努めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、子ども議会開催のためにご尽力をいただきました学校関係者の方々、そして本日、子ども議会を傍聴いただいております保護者の皆様、傍聴の皆様、また岬町議会の皆様に、この場をお借りいたしまして心より厚くお礼を申し上げます。私の講評とさせていただきます。本当に子ども議員の皆様、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

○岡田拓磨副議長

どうもありがとうございました。

続きまして、岬町議会議長の道工議長さん、お願いします。

○道工晴久議長

子ども議会、本当にお疲れさまでございました。緊張しましたね。緊張した人、手を挙げてください。緊張してない、挙がってきました



ね。緊張するんです。この場はそういう会議場なんです。我々もいつもそうなんです。緊張して、岬町の将来のことを考えて、ここでいろいろ議論を重ねている会議場であります。

19名の議員さんによって、岬町のいろんな問題、また将来像について真剣にご討議いただきました。私もこのすばらしい子ども議会で、心の引き締まる思いを実はいたしました。きっと後ろで、

きょうは傍聴に来ていただいております保護者の方々は、それ以上だったかなという思いもいたしておりますが、特に魅力あるまちづくりや防災について、また観光振興など、広範囲にわたるご質問をいただいたことに、岬町の将来を託せる人材がこれだけ多くおられるということに、本当に安心をいたしました。ぜひとも将来、岬町の議会議員になって、岬町の将来についてしっかりとご議論いただきますように、そしてその中で住みよい、住み続けたい、温もりのある岬のまちづくりのために、ぜひとも皆さん方の力をかしていただきたい。こちらに座っている理事者から、ご質問に対する答弁をいただきました。こういった事柄について、ぜひとも学校に帰られたら、学校で報告会をぜひともやっていただきたい。皆さんが一生懸命やられた姿というものを、今日はJCOMさんに来ていただいておりますが、学校の友だちみんなに知っていただく。こういうことも私は大事だと思います。輝く夢のある未来に向かって、しっかりと勉強して、岬町の中心的人物になっていただきたい。そういう思いが私としてもいたしております。多分、傍聴されている皆さん方も同じだと思います。本当にすばらしい子ども議会でした。

傍聴いただきました保護者の皆さん、また熊取町から来ていただきました熊取町議会の皆さん、また教育委員さん、社会福祉協議会の委員さん、また我々同僚であります岬町議会の議員さん、本当に長時間ありがとうございました。こういったすばらしい子どもたちの育成のために、今後とも見守り続けていただきますようお願い申し上げます。簡単でございますが講評とさせていただきます。ありがとうございました。

○岡田拓磨副議長

どうもありがとうございました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

田代町長さん、道工議長さんを初め、岬町役場の皆さん、ありがとうございました。私たち、子ども議員19名は、議員活動を体験し、町政の仕組みや成り立ちについて学びました。そして、岬町のまちづくりについて、自分たちの思いや意見を述べる機会を作っていただき、学校の中では学べない大変貴重な学習をさせていただきました。この成果を学校に持ち帰るとともに、これからの学習にも生かしていくことを約束して、皆様へのお礼の言葉にさせていただきます。本当にありがとうございました。

全員起立。礼。着席。

これで、岬町子ども議会を閉会いたします。

(午後3時25分 閉会)

以上の記録が本町子ども議会第1回会議のてんまつに相違ないことを記するため、ここに署名する。

平成28年1月28日

岬町子ども議会

議長 北野 樹

議員 池中 奏

議員 中土益路 海斗



**町制施行60周年記念事業
岬町子ども議会委嘱状**

岬町立〇〇小学校

〇〇 〇〇

あなたを岬町子ども議会議員に委嘱します

任期は発令の日から平成28年1月28日までとします

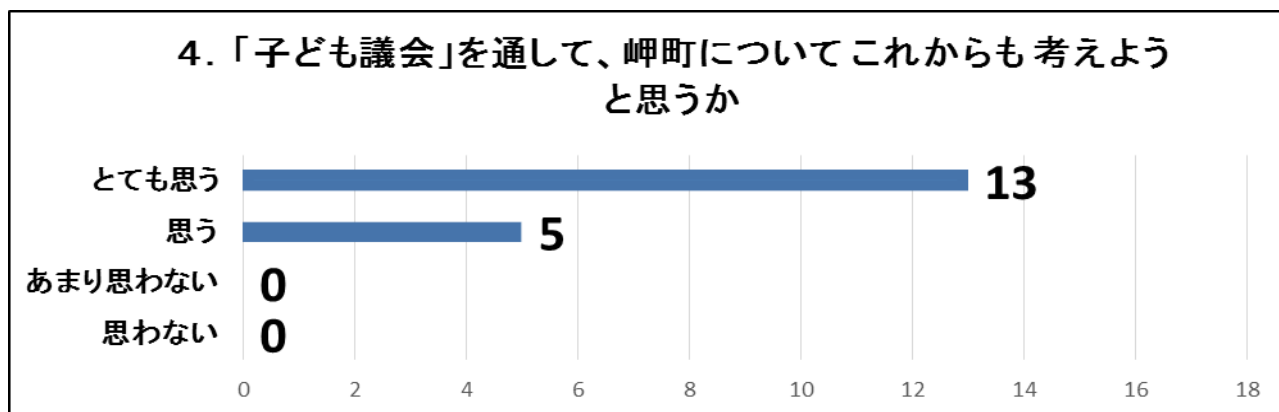
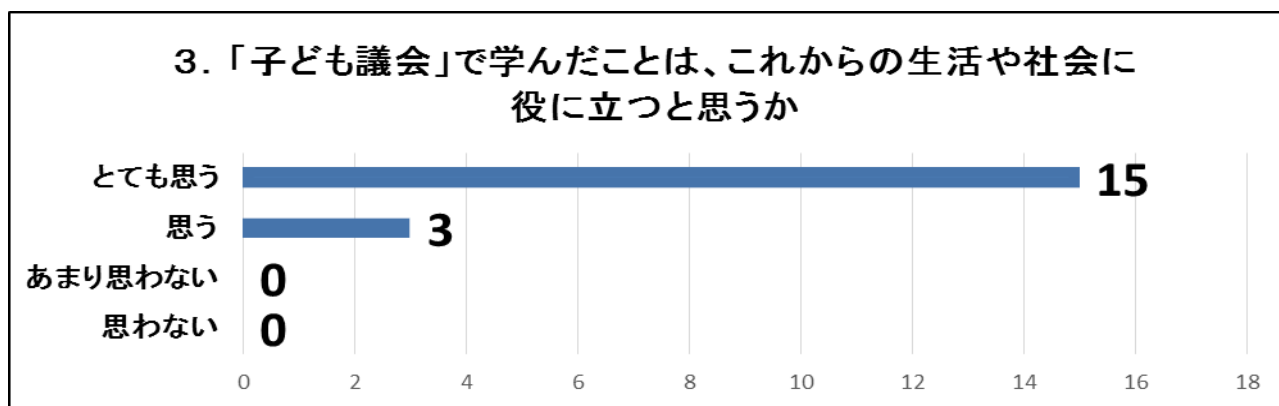
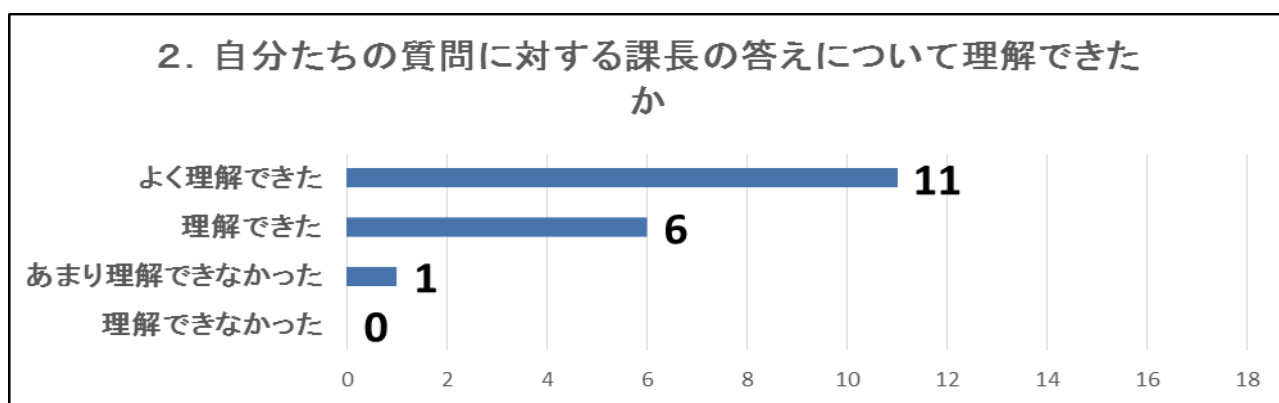
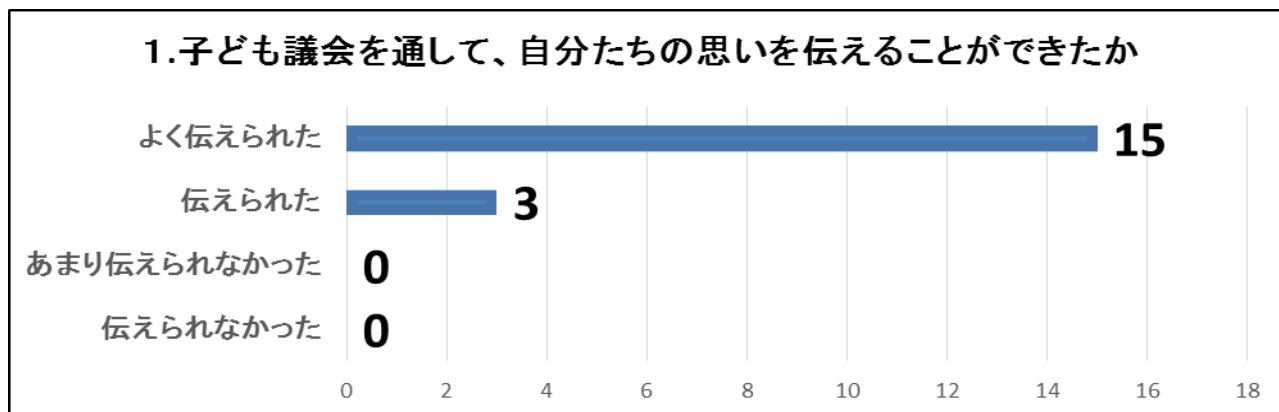
平成27年11月26日

岬町長 田代 堯



「子ども議員」アンケート

【子ども議員 18名回答】



「子ども議会」感想

淡輪小学校 大山田 一平

子ども議会を通して、自分たちの思いを伝えられてとてもよかったです。

発表する時、とてもきんちょうした。でも練習をして本番うまく行ってよかったです。

子ども議会をやって、これからの岬町がどう変わっていくのが楽しみです。

淡輪小学校 酒井 志帆

子ども議会を通して、岬町のしている事が分かった。「何でこうしてるの」「こうしたらいいのにな」と思う事も、自分で言う事が出来た。そして「それなりに理由があるんだ」と思えました。

私たちが議員になれたのは、ぐう然の重なりだと思えます。私が議員になれた分、議員になれなかった子に成果を話したいです。

淡輪小学校 木戸 きらり

子ども議会について考えている時、「いつかこんなことをする時には大人になっているのかな？」と思いました。だから子ども議会なんてことを子どものうちに出来るのは、あるいみ奇せきだと思っています。だから、今自分で思っていること「こんなことをもしも出来るとしたら・・・」いろんな事がうかびました。それはもちろん楽しくて仕方の無いことでした。家族や友だち、親せきや知り合いにも協力してもらいました。そんな考えに一生けんめい答えてくれたみなさん、本当に心から有難うございました。

淡輪小学校 岩永 空亜来

ぼくは、淡輪小学校から子ども議会に参加しまし

た。リハーサルもしていたけど、本番はたくさんの方に見に来た大人の人やえらい人たちがいてとても緊張しました。

自分の発表の順番にきて、少し話したいこととちがってしまいました。ぼくは、外灯のことを話したのですが 30m ごとにあることを知りました。暗い所は、地区の役員さんに話をするとつけてくれるそうです。役場の議場に入ってとてもいい体験をすることができました。

淡輪小学校 山本 希衣

とてもきんちょうした。なかなか体けんできないことなので、きちょうな体けんになったと思います。また、役場の人たちは岬町をよくするために一生けんめい話し合ってくれてるということがわかってうれしかったです。この体けんをいかして、18 才になったらせんきよにさんかしたり、自分の意見をハッキリ言えるようになりたいと思いました。

また、この体けんをいろいろな人に話して議会のことを知ってほしいと思いました。

淡輪小学校 中塩路 海斗

ぼくは、この子ども議会をたいけんして学んだことがあります。それは、岬町役場の議員さんは、この岬町をいろいろと便利にしてくれていることです。岬町の議員さんは「どうしたらゴミが減るのかなあ〜」「どうしたら便利にできるかなあ〜」といろんなことを考えてくれてぼくはうれしいです。なぜかと言うと、岬町の議員さんが案をだすと、その案を実行してくれたら岬町がより便利によりキレイになるからです。この子ども議会でたいけんしたことは将来いかしたいと思います。

淡輪小学校 下出 泰史

子ども議会に出席させていただき本当にありがと

うございます。子ども議会に出席すると決まった時は、「自分なんかでいけるかな～」と思っていたけど、無事に成功できて良かったです。ちなみに一番きんちょうした所は、やっぱり一般質問です。「かまないかな～」とか「ゆっくりハキハキと質問できるかな～」と思っていました。三年生の時に一度議場に行っていて、「広くてきれいですごい所だな～」と思っていて、まさか自分が議会に出席するとは思っていませんでした。今回は子ども議員としての貴重な体験本当にありがとうございました。

淡輪小学校 大内 陽斗

三年生の時に議場に行ったけど、まさか自分が議会に参加するなんて思っていませんでした。なのに、先生に児童会が子ども議会に参加すると聞いてビックリしました。でも打ち合わせに行ってみると楽しそうでちょっと安心しました。

議会では、課長さんが一生懸命に答えてくれて、いつも岬町をよくするために話し合いがされているんだなあ～と思いました。いろんな質問があったけど一つでも実現されたらいいなと思います。そしてこれからも岬町のことについて考えていきたいと思っています。

淡輪小学校 北野 樹

私は、この議会を体験して岬町はこんなふうにしてできているんだ、こんなにがんばってくれているんだな～と思いました。今回、議会の議長という重大な役をさせていただき本当にありがとうございました。すごくきんちょうしたけど、すごくためになったと思いました。三年生の時、一回議場に入ったけど、まさか自分がそこで議会を体験し、そして議長という役をさせていただくとは夢にも思っていませんでした。

今回、体験した事を将来に生かしたいと思います。

そして私はいつか、岬町議会の議長になりたいです。今回は本当にありがとうございました。

深日小学校 桶谷 七海

自分たちの考えや不安を伝えることができました。それに対する答えも聞くことができたので、とても満足な結果になりました。子ども議会で学んだことは、この後の生活や社会に役立つと思います。

また、今回の議会のように、これからも岬町のことを考えていきたいです。他の学校との交流の場にもなり、とても楽しかったです。制服の件は、できれば私たちが卒業するまでに新しくなってくれば良いです。よろしくお願いします。議会は今までに無い貴重な機会となりました。本当にありがとうございました。

深日小学校 尾崎 梨音

とても貴重な体験をさせていただきありがとうございます。私たちの質問などの疑問を伝えることができて良かったと思います。課長たちに、私たちの伝えたいことが言えて、答えていただきありがとうございます。「こども議会」で、役場の方たちが岬町のことをちゃんと考えていただいていることを、改めて感じました。私は、この「こども議会」を通して、考えてみようと思いました。制服など、気になっていましたが、課長さんたちが答えていただいて、とてもよくわかりました。「こども議会」で、他校の人とも交流もでき、これもまた、良かったと思います。最初、とてもきんちょうしていたのですが、みなさんやさしく教えてくれたので、やり通すことができました。この「こども議会」で学んだいろんなことは、役に立つと思います。本当にありがとうございました。

深日小学校 辻本 芙蓉

すごく緊張していました。自分の番になるまですごく長い時間だと感じました。質問をしおわってから回答がびっくりしました。深日保育所をこわして、とりにある公園と合体すると聞いてすごく広くなるなと思いました。他の人が質問したものの回答もびっくりしました。岬中学校の制服のデザインがかわると聞いて、少しうれしかったです。しかも「ジェイコム」のカメラがきていたので、よけい緊張しました。テレビで放送されるのを見たかったけど見られなかったのが残念でした。私が発表しおわってから、友達に「ちゃんとできたよ！」と喋ってくれたので、ホッとしました。

経験できないことができたのでうれしかったし、よかったですと思っています。ありがとうございました。

深日小学校 芳山 櫻子

めっちゃきん張りました。この「子ども議会」を通して、岬町が良い町になればいいと思います。なかなかできない体験をできて良かったです。納得のできる説明をしていただいた課長さんたち、ありがとうございました。JCOMのテレビ見ました。

多奈川小学校 青柳 勇輝

はじめて議員さんになってきんちょうしました。いい経験をしました。議員さんは自分の町などいろんなことを考えてたんだなと思いました。また議員さんになりたいと思いました。

多奈川小学校 岡田 拓磨

今回の子ども議会に参加できて、ぼくはとてもうれしかったです。

なぜなら、ふだん疑問に思っても聞けないことを直接役場の人たちに聞く事ができ、とても分かりやすく答えてもらえたからです。副議長もきんちょう

うしたけど、とてもいい経験になりました。

ぼくは、他の友達ができない体験をしました。この貴重な体験を友達に伝えて、これからの岬町を良くしていくのが僕の責任だと思うので、中学校でも頑張りたいです。

本当にありがとうございました。

多奈川小学校 北野 晴愛

私は、子ども議会でいろいろなことを学びました。岬町は、どうすればもっと活せい化するのか、一生懸命考えていることがより深くわかりました。深刻な問題もあると思いました。人口はとて減っていてびっくりしました。私はとてきんちょうしたので、議員さん達は、いつももときんちょうしていると思います。いつも岬町の人のためにつくしてくれて、とてありがたいなと思いました。

学校に帰り、次の日に発表しました。得たものはたくさんあるので、そのことを生かせるように努力していきたいです。

今回は、とてもいい機会を与えていただきとてうれしかったです。このことを忘れず、たくさん生かせるようにしたいです。もっと岬町のことを考えたいです。

多奈川小学校 池中 奏

・議会は初めてだけどあんまりきんちょうはしなかったです。

・伝えることを最後まで言えてよかったです。

・あとテレビにでたので、うれしかったです。

・伝えることを覚えるのが大変だったと思います。

・議会は楽しかったです。

多奈川小学校 津井 紅玲羽

とてきんちょうして町長さんとかがよく聞いて、しんけんな目だったからきんちょうしました。

ちょっと自分のセリフが早くなってしまったけど、練習より大きな声で言えたのではっきりと伝わったと思います。

議会はとても大変で長時間あるなか、議員さんががんばっていることがよく分かりました。議長さんはみんなの前ではきはきと言っていたのがすごかったです。この子ども議会があったからこそ勇気をもって言えることができました。

多奈川小学校 福竹 玲奈

私はこの子ども議会で、はじめて岬町のことで自分が思っている事を伝える事ができました。この議

会で岬町が便利になればいいと思います。私が質問したら答えてくれて、やっと疑問がはれてよかったです。答えてくれるときも、わかりやすく答えてくれてよかったです。

この先もこんな機会がないと思うので、こんな体験ができてとってもよかったです。ほかの人もはっきり言えていて、すごくじょうずでした。議長の人とはとくにじょうずでした。ゆっくりはきはき言えていてすごいと思いました。

【広報「岬だより」 1月号 3月号より】

「岬町子ども議会」を開催します！～傍聴に来ませんか～

岬町内の小学生が、岬町の行政を身近に感じ、自分の考えや意見を発表することで社会の一員であることを学ぶため、「子ども議会」を開催します。みなさま、ぜひ、傍聴にお越しください。

▼日時 1月28日(木)

13時30分～15時30分

▼場所 岬町役場3階 本会議場

▼定員 先着50名(定員になり次第締め切り)

▼申込期間 ※事前申込み

1月14日(木)～21日(木)

※土日除く9時から17時30分まで

▼必要事項 氏名・住所・電話番号をお知らせください。

▼注意事項

子ども議会当日、13時15分までに岬町役場3階議会事務局にお越しください。また、傍聴に関しては「岬町議会傍聴規則」に準じます。



▼子ども議員委嘱状伝達式の様子

▼申込方法・問合せ

教育委員会事務局 指導課

☎ 492 - 2719

平成 28 (2016) 年

広報

岬だより

3

No.487

ホームページ <http://www.town.misaki.osaka.jp/>
Facebook <https://facebook.com/misakitown/>



主なページ

今月のカレンダー.....	2	マイナンバー通知カード.....	8
まちのできごと.....	4	学生納付特例制度.....	11
消防ダイヤル119.....	6	固定資産税のお知らせ.....	12
健康スケジュール.....	7	平成 27 年分の確定申告及び納税について.....	13
狂犬病予防注射(集合注射).....	8	JBCFクリテリウム.....	16



みざっきー
マスコットキャラクター

1月28日(木)に「岬町子ども議会」が開催されました。
 参加した町内小学生19名は、2回にわたる事前学習会を行い、本番では、ま
 とめあげた質問や提案を発表しました。子どもたちが、岬町のまちづくりにつ
 て自分の考えや意見を述べるよい機会となりました。これからも勇気を出して積
 極的に提案し、一緒に岬町をよくしていきましょう!



みざきーちよ
岬町観光大使



豊かな自然 心かよう温もりのまち“みさき”